



全国LPガススタンドアプリ

# 《LPG HYBRID 取扱説明書》

## ◆基本事項：LPG HYBRID仕様車とは

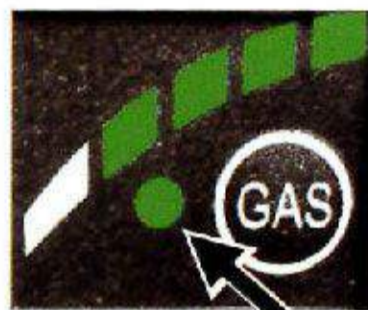
LPG HYBRID仕様車は、ガソリンと液化石油ガス（以下、「LPガス」と省略）の両方を使用できるバイ燃料車です。通常は「自動切替モード」により始動と暖気運転はガソリンで行われ、その後アクセルを踏むことによって自動的にLPガスに切り替わります。また、「ガソリンモード」に手動切替することにより、ガソリンだけでの走行をすることも出来ます。LPG HYBRID仕様車は、LPガスが主燃料となります。

## ◆LPG HYBRID仕様車 各箇所の説明

【メータースイッチ（モード切替スイッチ/LPG残量表示計）】

【図1】

①エンジンスタート時、燃料切替スイッチは【図1】の表示となります。（待機モード）

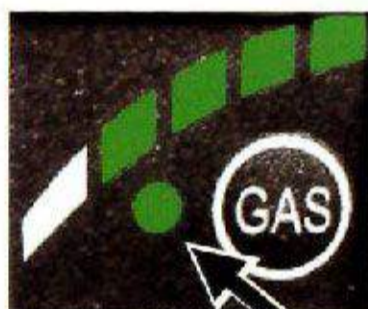


LPGの残量表示

(注) 残量表示はLPGを消費すると右側から消灯していく

LPGモード表示（点滅）

【図2】



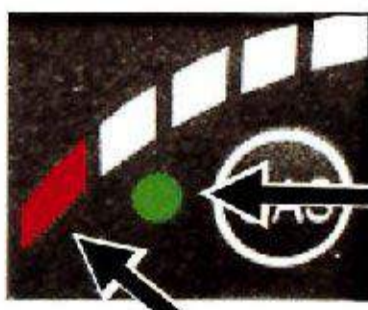
②エンジンスタート後、下記の条件を満たした時に自動的にLPGモードへ切り替わります。燃料切替スイッチは【図2】の表示となります。（待機モード）

○冷却水温度が（50° C）に上昇する

○エンジン回転数を1600rpm以上にする

LPGモード表示（点灯）

【図3】



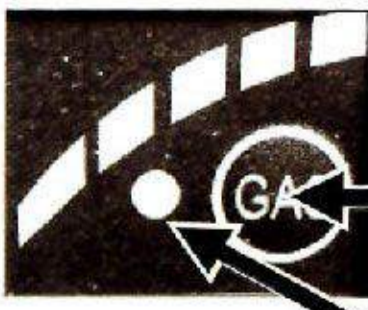
③LPG燃料が残り少なくなった場合は、左上の赤ランプが点灯し【図3】の表示となります。LPGタンクが完全に空になると残量計全体が点滅します。

LPGモード表示（点灯）

LPG燃料残量なし（赤ランプ点灯）

(注) 【図3】になった場合は、すみやかに④の行為を行い、ガソリンモードにして、LPGを充填してください。

【図4】



④燃料切替スイッチの中央部、丸いボタンを押してガソリンモードへ切り替えます。燃料切替スイッチは【図4】の表示となります。

ボタンを押す

ガソリンモード（ランプ消灯）

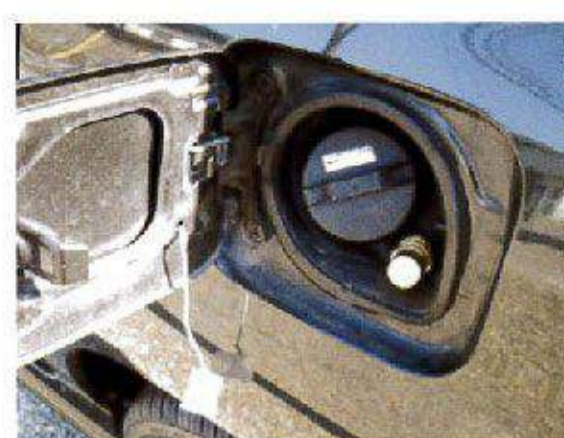
【LPG 充填口】



【LPG タンク】



【LPG 充填口】



※「給油口」「LPG タンク」に関しては特に操作の必要はありません。  
 (LPG スタンドにおいて専門係員が操作をして使用する箇所です)

## ◆モードの説明

### ① 自動切替モード

- ガソリンによってエンジンを始動し、暖気運転後、エンジン温度が上昇するとガソリンモードから自動的にLPガスモードに切り替わります。
- 冬場など温度が低いときは長めの暖気運転となり、比較的気温の高い季節は暖気運転が短くなります。
- 特に暑い夏場の日中などは、極端に短い暖気運転からLPガスモードに切り替わります。
- LPガスモードで運転中にLPガスが空になると自動的にガソリンに切り替わります。  
 (出来れば赤と緑ランプ交互点滅になったら手動切替することをおすすめします。)

### ② ガソリンモード

手動切替でOFFまたはLPガスが空の時にはガソリンモードで走行します。

## ◆プリウスLPG HYBRID 仕様の特性

LPG HYBRID システムはLPガス専用コンピュータを搭載し、HYBRID システムを活かしながら、あらゆる走行シーンで最適のバランスでLPガスを使用するように設定されています。

ガソリン・LPガスの3つの動力・燃料をバランス良く活かし、経済的でクリーンな走行ができるのが「LPG HYBRID 車」です。

### 《LPG HYBRID システムの動作》

- 停車時・発信時は電気モーターを使用しエンジンは停止します。
- 気温・エアコンの状況によりエンジンが停止しない場合があります。  
 (プリウス以外のアイドリングストップ機能付き車両の場合も同様です)
- 始動時はLPG HYBRID 切り替えスイッチは点灯しません。エンジンが始動して数秒後に点灯します。
- エンジンの燃料は一定時間ガソリンを使用の後LPガスへ移行します。
- 急加速時はエンジンに電気モーターのアシストが加わります。
- 高回転・高負荷時はガソリンを混ぜてパワーを出す制御になっています。

## ◆走行時の注意

LPGメーターは見づらい場所にありますので、走行しながらLPGメーターを見るのは危険です。ご注意の上、安全な走行を心がけましょう。

## ◆LPGボンベ使用期限（耐用年数）について

LPG HYBRID車のLPGボンベには工場製造日より6年間の使用期限【耐用年数】があります。

※施工には5年以上耐圧期限が残っているタンクを使用しています。

※タンクは個別に使用期限が異なりますので、期限が切れる前に容器検査を実施してください（車検とタンク期限は別々となります）。

## ◆メンテナンス

エンジンオイル・オイルエレメント交換のサイクル及びオイル粘度は車両メーカー指定数値に従ってください。推奨オイルは、100%化学合成油・API-SLグレード以上です。

## こんなときは？

※LPG充填後にガソリンから切り替わらない・・・

⇒LPGタンクのバルブ位置を確認してください

（開閉時のバルブ回転方向は水道の蛇口と同じです）

走行時は「赤バルブ開く・グレーバルブ閉じる」

それでも、切り替わらない場合は赤バルブを目一杯閉じてからもう一度ゆっくり開いてください。

※ガソリンからLPGに切り替わるのが遅い・・・

⇒外気温が低くなるとエンジン冷却水の上昇が遅くなるため暖気時間が長くなります。

※LPG充填所で「車両側にLPガスが入っていない」と言われた・・・

⇒前回充填時のLPGと今回充填予定のLPガスの圧力差が原因です。

充填係りの方に「抜いてください」と言ってください。

充填所で所定の対処をしてから充填します。

※「いつもより充填量が少ない（多い）」

⇒LPGは外気温で若干の容量変化するためです。

（気温が高い→膨張 / 気温が低い→凝縮）

※LPG充填後は必ず「LPG走行」に切替わることを確認してください。

## ◆取扱い上の注意事項

- ◎ 燃料切替は停車時・走行時、いつでもスイッチにて切替可能です。
- ◎ ガソリンは満タンにすると5000km以上持ちます。余分なガソリンは車体重量増になり走行抵抗となりますので適量(10~20L)だけを入れて重量を軽くする様にし、過度な暖気は控え初期アイドリングでのガソリンの消費を抑えてください。
- ◎ **ガソリンは絶対に空(ガス欠)にならないよう注意してください。**
- ◎ 衝突事故の場合は速やかにエンジンキーを切り、**LPGの供給を止めてください。**
- ◎ 車内で**ガス臭を感じた場合**、窓を開放し空気の入替を行い、**LPG HYBRID スイッチを「OFFモード」**にして下さい。
- ◎ エンジンオイルはガソリン車より汚れませんが交換サイクルは**車両メーカー指定距離**ごとに行なって下さい。

**この車両はガソリン車を改造したエコカーです。**

**運行前点検・月次点検・定期点検を行い安全にご使用ください。**

※LPG HYBRID 車 メーカー指定(5年もしくは10万キロごと)交換部品

- ①ペーパーライザー内部部品(オーバーホールキット)
- ②ガスフィルター
- ③ソレノイドバルブ内部フィルター(フロント・リアとも)

☆車検・整備・点検は、下記の施工店及び

全国のガステック販売店 (<http://www.k-techcorp.com>)

にて行って下さい。

店名

住所

電話番号

担当者名

**GasTech**  
GAS HYBRID PROJECT